大阪府立茨木西高等学校

Fine art club

「千咲」（デザインパネル）　３年生　三好　陽菜　　芸文祭入選作品

３ 月 ３ 日に誕生予定の女の子の名前は「千咲（ちさ）」と言います。由来は、花が咲くようおに明るくそして才能や可能性をより多く開花させるようにと名付けました。周りの花（バラ、トルコキキョウ、オキシペタラム、かすみ草）にはそれぞれ赤ちゃんの幸せや愛などの花言葉が込められています。白鳥は「純粋・誠実」などの意味があり、思いを込めて描きました。ほかには、名前を緩やかな感じを表現したり、スクラッチの部分は輝くように表現しました。月と太陽は千咲が想像する月と太陽です。

「馬の優雅な休日」（デザインパネル）　2年生　角間　理来

「emotional　suppression」（油画）　1年生　　御手洗　直毅

「ギリギリ purple 」(陶芸) 2年生 小川 大晟　　**芸文祭入選作品**

ギリギリpurple
茨木西高等学校 2年
小川 大晟

ギリギリpurple
茨木西高等学校 2年
小川 大晟

《睡蓮鉢制作過程》

制作期間 2020年6月～2021年1月

初めは電動轆轤で基礎的な技術を学び、
8月頃から輪積み轆轤で本作品に向け制作を開始した。

その後も何個か成型し、出展用作品の制作へ
出展用では棒に縄を括りつけた道具を作り
それを使って側面に凹凸をつけていった。

出展用1号は素焼きの時点で底部分が割れてしまった。
底との付けが甘かったようだ。
本来なら2号までの制作予定だったが
1号の破損により急遽予備の3号も成型することになった。

2号は無事素焼きに成功し、釉がけ作業へ移行。

ライラック(紫)、大正黒、1号釉で
どの割合なら出したい色が出るかを実験。
5番の割合を使用することにした。

輪積み轆轤での練習作品1号

凹凸を出すために使った縄

底が割れた出展用1号

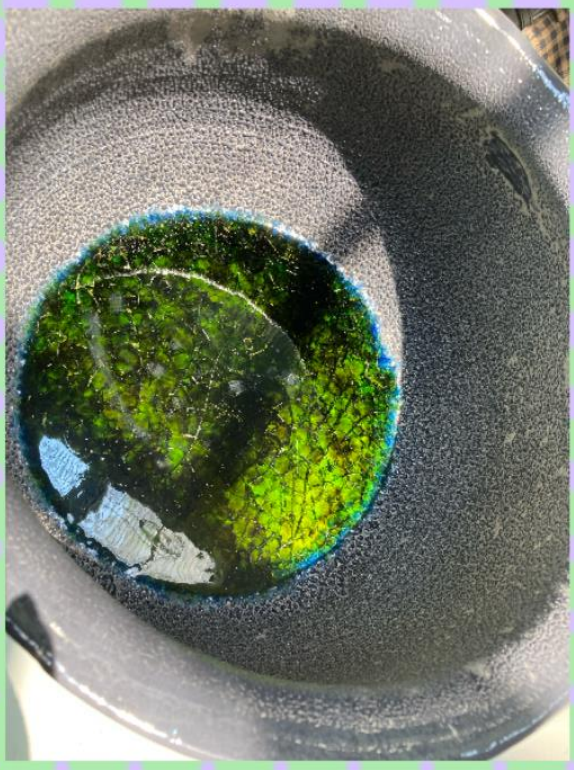
出展用3号

【コンプレッサーを使用した釉がけ作業開始】

練習用では普通に釉薬がかかったが、出展用は風の影響か
粒状に釉薬が付いた。
これは独特な溶け方をすると予想し、
この粒状を生かすためワイン瓶を割って
細かくなったガラスを底で溶かし、
平滑なガラスで粒々の釉薬を
引き立たせる方針へ

練習用

制作終了
粒も無事に残り、ガラスも綺麗に溶けてくれた。
それだけでなく側面に縄を使って作った凹凸に釉薬がかかることで
より光沢感を出すことが出来た。



実際に水を入れた睡蓮鉢

「花筏(はないかだ)」(陶芸) ２年生　池田　菜々子　　**芸文祭入選作品**

大阪府立茨木西高等学校　２年 池田 菜々子

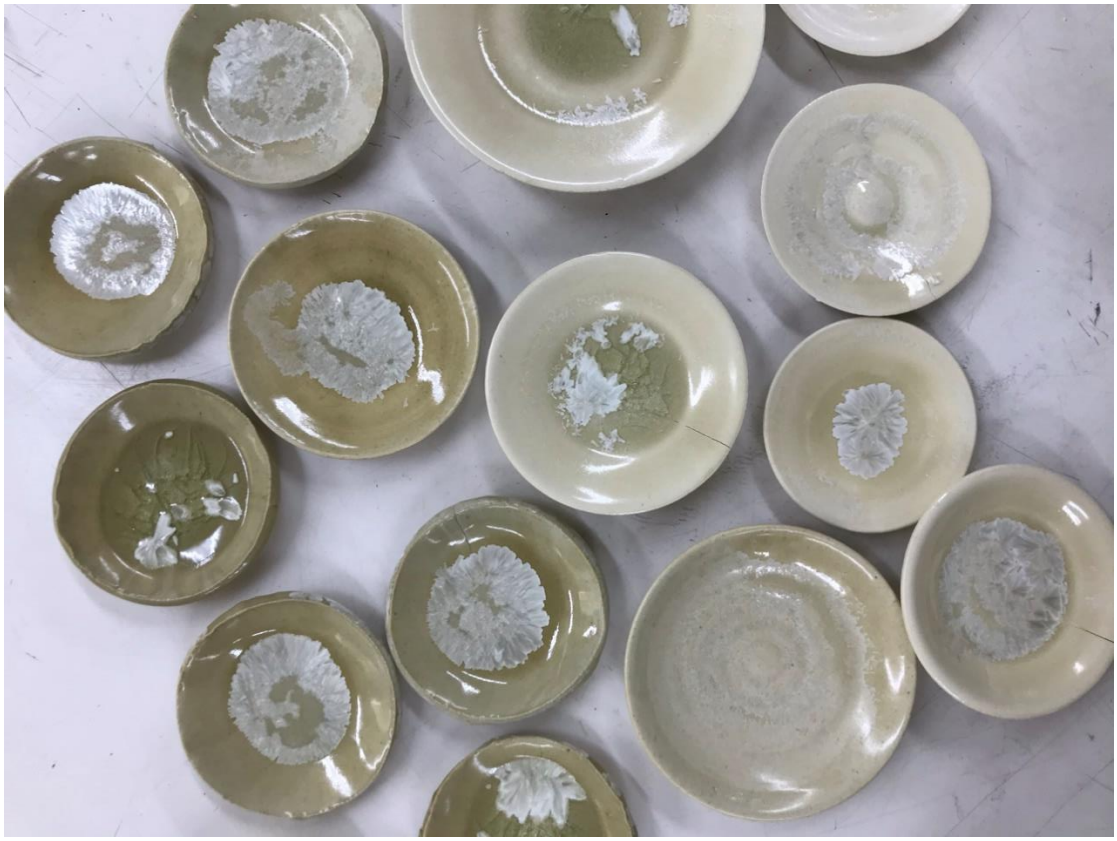
「花筏」（亜鉛結晶釉大皿）について

この作品を作った経緯

私がこの作品を作ったのには、朝ドラ「スカーレット」の影響が大きい。このドラマは陶芸を題材にした作品である。そこで主人公の息子が様々な色のテストピースを見て自分の作品のテイストを決めるといったシーンがあった。そこで登場したのが亜鉛結晶釉である。
私はこれを見た瞬間衝撃を覚えた、「何故こんなにも陶器に綺麗な花が咲いているのか」と。
そして同時に作りたい欲に駆られ、真っ先に顧問の渡辺先生に相談をし約一年にわたる大皿の制作を開始した。

制作過程

まず、渡辺先生の指導の元私は荒練りから始めた、初めて触る土は灰色で少しヒンヤリとして何故か可愛く思えた、そう思いながらも荒練りは難なくクリア、次は菊練り、そこで私は最初の難関にぶち当たった、私の最初の菊練りのみてくれはもはや車に轢かれたパンのようだった、先生が言うにはリズムと土の持つ量と手の形らしい、当時の私には情報量が多すぎて理解が追いつかなかった、この時土とは犬猿の仲のように思えた、だが回数を重ねるにつれどんどんと菊のように渦を巻くようになった。とても嬉しかったのを今もまだ覚えている。
次にろくろでの練習が始まった、最初は土殺しから始まった、土を上げ下げ上げ下げ手が覚えるまで繰り返す、足を踏ん張り体で土を持ち上げるイメージで土を殺していた。
次はただひたすらに小皿を作った、やはり最初は灰皿のような分厚さの皿だった、その時の私は一皿に対する土の量を誤っていたのだ、だがやはり回数を重ねるうちにその悩みも解決した、そして皿が出来たら高台作りに移った、これがまた難しいのだ理由としては皿が小さすぎて少しでも中心からぶれると皿は遠心力に負けて綺麗な放物線を描き木っ端微塵に割れていくのだ、さて何回割ったものだろうか、計り知れない、そして私は①小皿を作る②高台を作る、を繰り返していた。それを見兼ねた先生が「いいねいいね！じゃあ大皿作ってみよう！！」、私は焦る、突然なので焦る、そして私はたくさんの苦労の末、本命の大皿作成に行き着いたのだ。
大皿作成はやはり簡単には行かなかった、まず土殺しをし土を思いっきり下げケーキホールのような形を作る、そして回転を緩め自分の拳でホールの中心に凹をつくる、するとホールに壁が出来るそこをある一定伸ばし、右と左の人差し指を曲げ壁の内と外を少しずらし挟みろくろの回転と一定の速さでじっくりとあげる、ろくろの回転より速い速度であげてしまうと土を摩擦でこそぎ取ってしまうことになる、そして伸ばしきったら壁を倒し、底を整え皿の口を鹿の皮で整える、これで大皿の完成である。私はこの全ての工程に頭を抱える日々だった、軸はずれるし土は削り取りまくり、皿の口の高さは違うし、皿の厚さが至る所違う、言い出せばキリがない、そうだ私はとことん落ち込んだのだそしてプレッシャーとが相まって自分に怒る、ここまで来たらどうしようもない、そこで沈んでいた私に先生が「もっかい小皿作ってみ？」といった、言われた通り作った、簡単だった、簡単と思えるくらい素早く小皿ができたのだ、感動した、私が思っている以上に成長していたのだ、それによって私は勇気が湧いたのだ。
また、大皿制作に移る、何枚もとは行かなかったが１枚１枚丁寧に作り続けた。
同時に釉薬の調合を始めてた、京都市工業試験場窯業技術研究室に問い合せたところ、亜鉛結晶釉の基本調合を数十種類以上を教えていただき、より良い土の種類と、釉薬の厚みを知るべく約数十種類のテストピースを焼き検証した。



その結果、特に３番の釉薬に亜鉛結晶の変化が活発に見られた、他の釉薬は結晶が細かかったり、大きな変化が見られないものがあった、そして釉薬の厚みはやはり厚がけをしすぎると底に釉薬が溜まり透明な緑がかった色になった。川の水面を彷彿とさせる色でそれはそれで気に入ったが、結晶の出方がどう見ても花のようではなかったので、３番の釉薬に決定した。やはり最後の亜鉛華の核づけが効いていた。

テストピースで得られた結果を受け、私は早速本番に入った。テストピースの時より分量を計るのに気が遠くはならなかったが、やはり苦手な作業だった。そして７種類の見分けのつかない白い粉達と水を混ぜ合わせようやく釉薬が完成した。いや、実際にはここからが本番なのだようやく大皿の釉がけが始まる、既に素焼きが終わっ

た大皿に釉薬を流し込み、大きく大皿を回満遍なく均等に釉薬をかける。先生の心配とは裏腹に、結構すんなりといった、毎回初めての人がこの手の仕方で釉がけするとえらいことになるらしい、そういわれると私も調子に乗る、2 枚目も上機嫌で成功させ、表の釉がけは終了した。続いて裏側の釉がけを行う、裏側には一号釉を使う、そのまま表の釉薬を使ってしまうと釉薬が流れてしまう可能性があるからだ。そしてそれも無事かけ終わり、釜に入れる。焼き上がる日が合格発表のように思えた。
そして、ようやく先生から焼けた大皿の連絡が来た。その写真がこれだ。

2 枚のうち 1 枚が割れた、小さい方は、薄く作りすぎたようで、「冷め割れ」と言って釉薬(ガラス)に引っ張られて割れたようだ。結構ショックだった、だがもう 1 枚は予想とは違う結晶の出方だったがこれはこれで綺麗でいいと思った。思いどうりにならないところが陶芸のいい所であるとおもった。

茨木西高校美術部

茨木西高校の美術部は普段、芸文祭や高校展などのコンクールに向けて作品制作をしています。
他にも学校行事で使用するシャツのデザインや中庭のベンチ制作のような学校から依頼される様々な作業をこなしたりもしています。
他にも今年度は新型コロナ流行の影響で実施できていませんが、動物園などの校外に出てスケッチ会をしたり、近辺の高校との合同合宿といったイベントもあります。
部の特色としては美術室に隣接している美術準備室で本を読んだり台所が使えたりと非常に自由で、そして何より部員、顧問共に仲が良く、楽しく賑やかに活動しているところです。

「合宿について」
例年 7 月下旬に近隣の高校と合同で、三重県の赤目四十八滝にて合宿を行っています。活動としては、滝のスケッチ、クロッキーなどを行っています。滝のスケッチは構図をどのようにしようかと毎年迷ってしまいます。また 2 日間で書き上げなければいけないので、構図選びは重要です。クロッキーは 30 から 40 ポーズ行っています。各校でお題を決め、ポーズをとる人が 1 枚を選んでそのポーズを取ります。この他にもレクリエーションで花火をしたりするなどの楽しいイベントもあります。早くコロナが収まって再開されるのを心待ちにしています。

わたなべ・きしに17のしつもん

わたなべせんせー

① 『ショーシャンクの空に』
② たまご→玉ひで の親子丼
③ 金
④ 教えんの好きやから
⑤ 京都芸術大学
⑥ イタリア
⑦ トトロ
⑧ マシュマロ
⑨ 未来少年コナン
⑩ リナマヨ
⑪ ドラえもん
⑫ ビーフ
⑬ 剣
⑭ 食べルっ!
⑮ 坂本龍馬
⑯ 部室の片づけしなね☆
⑰ 楽しく絵を描こう!

きしせんせい

① 『紅の豚』
② ハンバーグ
③ おかね
④ もう一度学校に行きたくて
⑤ 京都精華大学
⑥ デンマーク
⑦ ピカチュウ
⑧ しそ
⑨ 蟲師
⑩ かつおこんぶ
⑪ クレしん
⑫ ビーフ
⑬ ライフルで
⑭ 会場を一周
⑮ 字面は犬上御田鍬
(いぬがみのみたすき)
⑯ 部員増えたらいいですね…
⑰ 多角的に見れば
真実は一つではない。

17の質問

① 好きな映画 ② 好きな食べもの ③ ほしいもの ④ 先生になった理由
⑤ 出身大学 ⑥ 行きたい国 ⑦ 好きなキャラ ⑧ 嫌いな食べもの
⑨ 好きなアニメ ⑩ 好きなおにぎりの具 ⑪ ドラえもん派?クレしん派?
⑫ ビーフ or チキン ⑬ 戦うとしたら何で? ⑭ お祭り行ったらまず何する?
⑮ 好きな歴史上の人物 ⑯ 最近部員に思うこと ⑰ 最後に一言!